元気いっぱい、笑顔いっぱい、社会に出ることを心待ちにした児童がそろう学校

朝霞第二小だより

【学校教育目標】 進んで学習する子（知） 仲良く助け合う子（徳） 健康で明るい子（体）

〒 351-0007 朝霞市岡３丁目１６番１３号 TEL048-461-0042
令和６年２月１日〈２月号〉 児童数 ７２１名（1/29現在）

防災について考える

校長 宮腰 高子

能登半島地震により被害に合われた皆様には謹んでお見舞いを申し上げます。

１月１９日(金)に朝二小を中心とした防災について情報交換、及び話し合う機会を持ちました。ご出席いただいたのは本校の学校運営協議会委員長であり元朝霞市総務部長の野本様、同協議会委員でＰＴＡ会長の鈴木様、朝霞市危機管理室の千葉様、梅村様です。学校からは、本校校長、教頭、安全主任が出席しました。まず、本校の安全教育計画を中心に、年間を通じて行っている安全教育について、本校の危機管理マニュアルも参考にしながら説明させていただきました。また、学校運営協議会のお二人には、それぞれのお立場で、防災の視点からこの地域の特性や協力体制についてお話がありました。つぎに危機管理室のお二人からお話がありました。お二人は今回の能登半島地震対応のために、現地に行かれたとのことです。現状についてや、私たちが備えておくべきことのヒントを頂きました。周知の通り、本校の体育館は災害の際の避難所になっており、避難してこられた方々の不便が軽減されるように工夫した準備がされています。有事の際は、自主防災組織の皆さんと市役所職員とで避難所開設にあたってくださるとのことです。今回のお話の中で、この地域では在宅避難者も多いと想定されますが、避難所に避難しないとしても備蓄すべき物資が用意されているか、家具の転倒防止などの対策が取られているか等も話題に上がりました。皆さんのご家庭はいかがでしょうか。これは、本校においても同様で、耐震工事は済んでいますが、様々な備品の落下防止対策が出来ているか改めて確認する必要があると感じました。本校においても、学校の再開が一日も早くできるように環境を整え子供たちを迎え入れたいと考えています。テレビ等の報道の中で、今回の震災に遭われた地区でも、順次学校が再開され、教師や子供たちが再開を喜び合い、授業を始めたり、給食を食べたり、子供同士がじゃれ合ったりする姿を目にしました。その姿は他人事には思えません。私たちは当事者意識を持ち、万が一の場合でも、一日も早く安心安全な学校生活を取り戻すべく最善を尽くしたいと考えております。

【避難訓練の様子】

また、本校が今年度研究主題としている「自ら考え、主体的に行動できる児童の育成」の成果が子供たちの未来に役立ってくれれば嬉しいです。「これがだめなら、こうやってみよう！」「協力すればできそうだ」等、自ら考え、仲間と声を掛け合い、乗り越えていけるように支援してまいります。

授業参観・校内書きぞめ展に多くの保護者の皆様にご来校いただきありがとうございます。参観や掲示物等から、お子さんやクラスの成長を改めて感じていただければ幸いです。書きぞめ展では、１年生は「お正月」、２年生は「日の出」をフェルトペンで、３年生は「せかい」、４年生は「竹うま」、５年生は「春まつ心」、６年生は「自然の美」を筆で大きく書きました。３年生～６年生は体育館で競書会を行い、作品を仕上げました。今回は「学校応援団」の皆様にもご支援を頂き、よりよい環境で実施することが出来ました。書きぞめでは、普段とは違うペンや筆で一文字一文字の筆の入りから、筆の運びや払いや止めまでお手本を参考にバランス良く書いていきます。そして、学年と自分の名前を入れて完成させます。自分を表す大切な「名前」を心を込めて書く。それはとても大切で素晴らしいことだと思います。廊下に並んだ作品は一人一人の生命力にあふれ、新年を迎え今年も心も体もたくましく、健康に学校生活を送っている様子を感じさせられました。

【競書会の様子】